

政策2 教育・文化 ～健やかで豊かな心が育つ～

◆小中一貫教育校開設準備

10,583万円

県内初の義務教育学校「余呉小中学校」の開設準備を行いました。平成30年4月にスタートし、9年間を見通した一貫した指導や異学年の交流による社会性の高まり等、魅力ある学校運営に取り組んでいます。



◆子ども若者文化の創造

1,028万円

次代の文化を担う子どもたちの創造性を高める取組として、文化芸術の体験や発表の機会をつくるため、人形劇講座や子ども劇場・ワークショップの実施、小中学校への芸術家派遣、文化芸術祭を行いました。



◆理系人材育成「長浜学びの実験室」 626万円

将来の理系人材を育成するため長浜バイオ大学と連携し、大学内の「長浜学びの実験室」で市内小中学生の実験講座を実施しました。



◆長浜曳山祭ユネスコ無形文化遺産登録記念事業 555万円

「長浜曳山祭」の魅力を国内外に発信するため、東京都千代田区の国立劇場で「長浜曳山まつり東京公演」を開催しました。



◆スポーツ夢チャレンジ 487万円

子どもたちが夢や希望を抱けるよう、有名アスリートによる教室や、指導者向け講演会、幼少年期対象のイベントを実施しました。



政策3 健康・福祉 ～いきいきと温かく生きる～

◆多子世帯の保育料負担を軽減 2億4,206万円

多子世帯の保育料について、子の年齢や保護者の年収に関係なく、第2子半額、第3子以降無償化を実施し、子育て家庭の経済的負担を軽減しました。



◆子育て応援アプリを導入 249万円

子育てに関する情報を必要とする人に必要なタイミングでお届けできる「子育て応援アプリ」ながまるキッズ!」のサービスを開始しました。



◆みんなで支える小学校給食費無料化 2億4,602万円

子どもたちの成長を市民全体で支えるため、小学校の給食費を補助しました。感謝する気持ちと支え合う仕組みを伝え、市の将来を担う人材の育成を図っています。

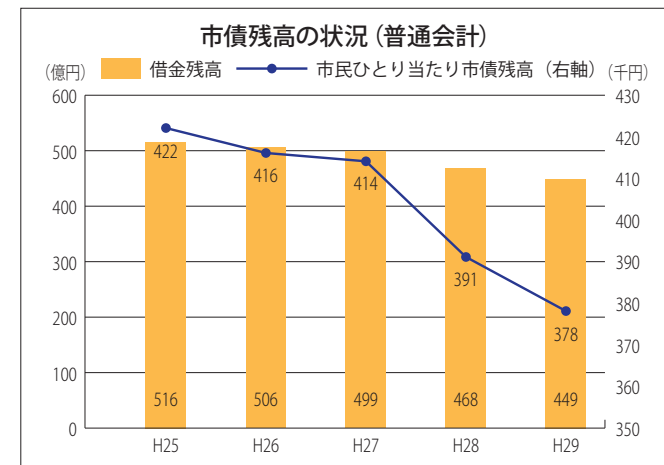


健全な財政運営と今後の課題

平成29年度末の本市の借金(市債)残高は、449億円ですが、これまで計画的に削減してきました。

総務省が示している健全化判断比率(借金返済や借入額が多すぎないかなど5つの項目)では、すべての項目で基準をクリアしており、平成29年度決算は健全な財政運営を行ってきたといえます。

しかし、主な財源である地方交付税の縮減が進み、社会保障費の増加が見込まれる中、財源に見合った決算規模をめざす必要があります。限られた財源を効率的に運用し健全な財政運営を行えるよう、効果的な施策編成を行っていきます。



(※)長浜市の財政状況について詳しくは市ホームページをご覧ください。



平成29年度はこんなことに取り組みました

「挑戦と創造」が合言葉 長浜市総合計画

長浜市総合計画は、市民と行政が一緒に「新たな感性を生かし みんなで未来を創るまち 長浜」をめざし、実現するためのまちづくりの指針です。

自治体経営がさらに厳しくなることが予想されている中で、10年、20年先を見据え「Challenge & Creation」を合言葉に未来志向のまちづくりを進めています。

長浜市総合計画で掲げる6つの政策分野ごとに、平成29年度の主要事業の取組結果を紹介します。



政策1 市民・自治 ～市民とともに創る～

◆市民の活躍を応援 4,846万円

市民活動センターによる人材育成、つながりづくり、専門コーディネーターによる相談対応や、活動資金の支援などにより、地域づくり協議会や市民活動団体の取組を応援し、市民の主体的な活動の促進を図りました。



◆市民参加型シティプロモーション 388万円

市民自らが地域の魅力を再発見しその魅力を発信できるよう、写真撮影や取材のノウハウを学ぶ講座を開催しました。また、SNS(Instagram)やホームページなど、インターネットによる情報発信の場を提供しました。



◆首都圏との連携推進 2,734万円

東京上野の「びわ湖長浜KANNON HOUSE」での魅力発信や、台東区のアンテナショップへ出店し長浜をPRするとともに、首都圏で活躍するメンバーを中心につくる長浜の応援チーム「東京ー長浜リレーシヨonz」の準備会を発足しました。

